

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで
つながろう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「地域、次世代と共に、
明るく!楽しく!!朗らか!!!に
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

2560地区ガバナー 大谷 光夫

高田ロータリー会長 高坂 光一

幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp

例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守
木村 隆

第5回例会 ■ 8月2日(金)

No.5

会長挨拶 ● 高坂 光一

暑中お見舞い申し上げます



連日の暑さにみなさんもお疲れが溜まってきたことと思いますが、8月8日は二十四節気の一つ立秋、気持ちだけでも涼やかになればと願います。

さて、この暑さの中、7月29日に東京日本橋を出発した加州大聖寺藩参勤交代うおーくの一行が8月4日野尻宿から新潟県に入りました。彼らは日本橋から13泊14日をかけ毎日午前午後リレー方式で大聖寺までの540kmを目指し歩いています。

私も高田、直江津のRA 5名と4日午後の部、二本木駅から本町7丁目まで加賀、上越併せ約100名の参加者と共に歩きました。皆、暑さに負けず、コースタイムよりも早く無事到着することができてなによりでした。

この事業を通じて、初めは江戸時代の人々の足の強さに感心していましたが、よく考えれば彼らはその方法しかなく、改めて高速道路、新幹線等、現代社会に感謝した一日となりました。その他にも今普通にある身の回りの物にそういったものが多く存在することにも気がつきました。

彼らは今朝も暑さに負けず、本日の目的地糸魚川に向け元気に出発していきました。

出席報告

出席率 94.34%

ビジター

東山征子様

メイクアップ

大谷光夫君・水上喜芳君

(7/29 三条南 RC 公式訪問)

お客様スピーチ

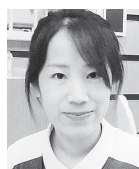


東山征子様——葬儀参列の御礼

セレモニー

2018-19年度地区副ガバナーより感謝状

東山征子様



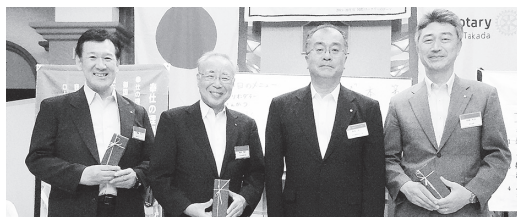
米山記念奨学金贈呈: 周 勝男さん

委員会報告

出席ニコニコ BOX 委員会

齋藤俊幸君——東京情報センターも3年目を迎えることができました。また、これを機に上越信金さん、新井信金さんと協定を結ぶことができました。

親睦委員会——8月のお誕生日各お祝い



会員増強委員会——会員増強のお願い

広報会報雑誌委員会——地区ホームページについて

米山奨学委員会——寄付のお願い

職業分類・ロータリー情報委員会——ポリオ「撲滅」からポリオ「根絶」に変わります（ロータリーの友7月号P56参照）

幹事報告

配布物：週報No.4、会員名簿、ロータリー財団寄付金領収書、ロータリーの友8月号

回覧：ガバナー月信8月号、財団室ニュース8月号、RA第1回地区行事のご案内、高田駐屯地広報第2号、アルペンスキーヤー高橋大成さんプロフィール

ガバナーインフォメーション

今後の公式訪問予定

- 8月19日 新発田 RC
- 21日 新津 RC・白根 RC・新津中央 RC
- 22日 村上 RC・村上岩分 RC
- 29日 燕 RC・分水 RC・巻 RC
- 30日 新潟東 RC

会長卓話 ほうりきのみっつのようかんぼお

会長 高坂 光一 君

富山市南部を流れる井田川沿いの河岸段丘上に広がる八尾町旧町、ここで毎年5月3日に開かれる曳山祭に訪れ五年以上経ちました。八尾は9月1～3日に開かれる「おわら風の盆」が有名ですが、地元では「おわら」よりも曳山祭に命を懸ける「山キチ」と呼ばれる方のほうが多いそうです。

この曳山祭は、江戸中期に八尾が富山藩随一の交易場として隆盛を誇った頃を起源とし、優れた工藝技術に彩られた豪華山車を地元若者が街を曳き練り歩く地元八幡社の春の例祭です。

初めて訪れた五年前、山車と集う人々に圧倒されていると聞こえてきた変な掛け声、「ほうりきのみっつのようかんぼお せやあち!」、山車が動き始める時、角を廻る時その掛け声は響きます。

なんだろう?と地元の方に聞いても「???」誰も要領を得ません。その後も、毎年いろいろな方に聞いてきましたがはっきりしない…最近では無理して意味づけする必要はないなと思っています。因みに「せやーち!」は富山弁で「せえの!」と力をこめる時の掛け声だそうです。

この八尾との出会いは、今の私に大きく影響しました。このご縁を頂いた上教大院生に改めて感謝します。これからも性別、世代等を超え、素直に出会いを楽しみ、刺激を受けていきます。

さあ、皆さんも一緒に八尾に行こまいけ! (行きましょう!の富山弁)

